

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年8月26日(2021.8.26)

【公開番号】特開2019-107126(P2019-107126A)

【公開日】令和1年7月4日(2019.7.4)

【年通号数】公開・登録公報2019-026

【出願番号】特願2017-241226(P2017-241226)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F	7/02	3 3 4
A 6 3 F	7/02	3 3 0
A 6 3 F	7/02	3 1 2 C
A 6 3 F	7/02	3 1 0 A

【手続補正書】

【提出日】令和3年7月10日(2021.7.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

発射手段によって発射された遊技球を1球ずつに整流して流下させる導入口、第1流路、第2流路、及び振分部を有し、前記導入口から導入された遊技球を、前記振分部によつて前記第1流路又は前記第2流路のいずれかに振り分けて流下させる流路形成手段と、

前記第1流路又は前記第2流路を流下した遊技球の入球が可能な第1入球手段と、

少なくとも前記第2流路を流下した遊技球の入球が可能であり、前記第1入球手段とは機能が異なる第2入球手段と、

前記第2入球手段への遊技球の入球を制限する第1位置と、前記第2入球手段への遊技球の入球を許容する第2位置との間で動作可能な可動手段と、

前記第2入球手段との間に遊技球の流下が可能な領域を形成し、遊技盤の右側領域に打ち出された遊技球を前記第2入球手段に入球可能に流下させる誘導部と、

を備え、

前記可動手段は、

前記第1位置と前記第2位置との間でスライド移動可能であり、

前記第1位置において、前記第2入球手段を入球制限状態にして、前記第2流路を流下した遊技球又は遊技盤の右側領域に打ち出された遊技球の前記第2入球手段への入球を制限し、

前記第2位置において、前記第2入球手段を入球許容状態にし、かつ前記誘導部と前記第2入球手段との間に遊技球の流路を形成し、前記第2流路を流下した遊技球又は前記右側領域に打ち出された遊技球の前記第2入球手段への入球を許容するものであり、

前記第1位置は、前記領域を開放する位置であり、

前記第2位置は、前記領域の少なくとも一部を閉鎖する位置であり、

本遊技機は、

前記可動手段を制御して前記入球制限状態と前記入球許容状態とを発生させる制御手段を備え、

前記制御手段は、

少なくとも第1遊技状態と、前記第1遊技状態より遊技者にとって有利な第2遊技状態とに遊技状態を切り替え可能な遊技状態切替手段を備え、

本遊技機は、前記第2遊技状態において前記第1入球手段への入球率を切り替え可能な可変手段を備え、

本遊技機は、前記第1遊技状態において前記可動手段が前記第2位置に移動して前記入球許容状態となった時に前記誘導部から誘導された遊技球が、前記可動手段が前記第2位置に移動することによって形成される前記流路の上側を前記第2入球手段に向けて流下したとしても、遊技球が前記第2入球手段に入球するよりも前に前記可動手段が第1位置に移動されることによって前記第2入球手段に入球することを制限する手段を備えることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

[形態]

発射手段によって発射された遊技球を1球ずつに整流して流下させる導入口、第1流路、第2流路、及び振分部を有し、前記導入口から導入された遊技球を、前記振分部によって前記第1流路又は前記第2流路のいずれかに振り分けて流下させる流路形成手段と、

前記第1流路又は前記第2流路を流下した遊技球の入球が可能な第1入球手段と、

少なくとも前記第2流路を流下した遊技球の入球が可能であり、前記第1入球手段とは機能が異なる第2入球手段と、

前記第2入球手段への遊技球の入球を制限する第1位置と、前記第2入球手段への遊技球の入球を許容する第2位置との間で動作可能な可動手段と、

前記第2入球手段との間に遊技球の流下が可能な領域を形成し、遊技盤の右側領域に打ち出された遊技球を前記第2入球手段に入球可能に流下させる誘導部と、

を備え、

前記可動手段は、

前記第1位置と前記第2位置との間でスライド移動可能であり、

前記第1位置において、前記第2入球手段を入球制限状態にして、前記第2流路を流下した遊技球又は遊技盤の右側領域に打ち出された遊技球の前記第2入球手段への入球を制限し、

前記第2位置において、前記第2入球手段を入球許容状態にし、かつ前記誘導部と前記第2入球手段との間に遊技球の流路を形成し、前記第2流路を流下した遊技球又は前記右側領域に打ち出された遊技球の前記第2入球手段への入球を許容するものであり、

前記第1位置は、前記領域を開放する位置であり、

前記第2位置は、前記領域の少なくとも一部を閉鎖する位置であり、

本遊技機は、

前記可動手段を制御して前記入球制限状態と前記入球許容状態とを発生させる制御手段を備え、

前記制御手段は、

少なくとも第1遊技状態と、前記第1遊技状態より遊技者にとって有利な第2遊技状態とに遊技状態を切り替え可能な遊技状態切替手段を備え、

本遊技機は、前記第2遊技状態において前記第1入球手段への入球率を切り替え可能な可変手段を備え、

本遊技機は、前記第1遊技状態において前記可動手段が前記第2位置に移動して前記入球許容状態となった時に前記誘導部から誘導された遊技球が、前記可動手段が前記第2位置に移動することによって形成される前記流路の上側を前記第2入球手段に向けて流下したとしても、遊技球が前記第2入球手段に入球するよりも前に前記可動手段が第1位置に

移動されることによって前記第2入球手段に入球することを制限する手段を備えることを特徴とする遊技機。